複合的な困りごとを抱える方への対応に関する取組例

～ 神奈川県居住支援協議会居住支援コーディネーター育成研修 ～

令和8年7月28日（火）
東北ブロック居住支援連絡会議
第3回ポイント勉強会

神奈川県居住支援協議会
事務局 （公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会）

目次

１　自己紹介
・事務局（かながわ住まいまちづくり協会）
・神奈川県居住支援協議会

２　居住支援コーディネーター育成事業について

３　研修会でのグループワークについて

４　これからのこと（まとめ）

目次

1　自己紹介
・事務局（かながわ住まいまちづくり協会）
・神奈川県居住支援協議会

2　居住支援コーディネーター育成事業について

3　研修会でのグループワークについて

4　これからのこと（まとめ）

1　自己紹介　～　事務局　（(公社)かながわ住まいまちづくり協会）　～

平成7年設立の公益法人。「福祉」「環境」「防災」をキーワードに事業展開

正会員に不動産関係団体（神奈川県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会神奈川県本部、日本賃貸住宅管理協会神奈川県支部）が所属

➢平成13年度

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に基づく、神奈川県の指定登録機関となる。

これが居住支援事業を始めるきっかけ

➢平成22年度

神奈川県居住支援協議会設立に伴い、事務局を担う（会則に規定）。

➢平成25年5月1日

「公益社団法人」へ移行。

➢平成30年度

・神奈川県から居住支援法人の指定を受ける（神・法人18-0005）

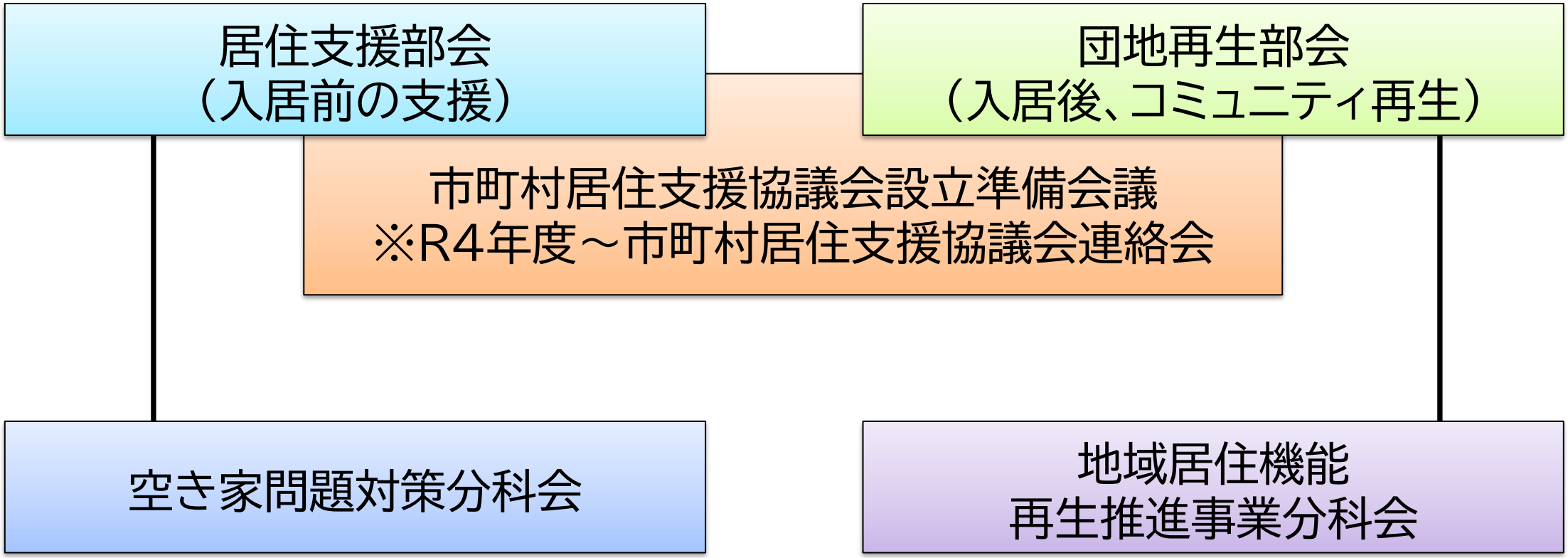
・鎌倉市居住支援協議会事務局を担う（会則に規定）。

➢令和2年度

相模原市居住支援協議会事務局を担う（会則に規定）。※経理事務のみ

1　自己紹介　～　神奈川県居住支援協議会　～

○設　立　：　平成22年11月
○会　長　：　神奈川県 県土整備局 建築住宅部長
○事務局：（公社）かながわ住まいまちづくり協会
○組織の構成
　2つの部会と分科会



1　自己紹介　～　神奈川県居住支援協議会　～

○会員

◆宅地建物取引業者

・ 神奈川県宅地建物取引業協会 ・ 全日本不動産協会神奈川県本部 ・ 日本賃貸住宅管理協会神奈川県支部
・ 不動産流通経営協会

◆賃貸住宅事業者

・ 神奈川県住宅供給公社 ・ 横浜市住宅供給公社 ・ 川崎市住宅供給公社
・ UR都市再生機構東日本賃貸住宅本部神奈川エリア経営部 ・ 全国賃貸住宅経営者協会連合会神奈川湘南支部
・ サービス付き高齢者向け住宅協会 ・ 日本地主家主協会

◆居住支援団体

・ 神奈川県社会福祉協議会 ・ 高齢者住宅財団 ・ 県内居住支援法人40法人　ほか

◆その他団体

・ 神奈川県司法書士会 ・ 神奈川県行政書士会 ・ 神奈川県土地家屋調査士会 ・ 住宅金融支援機構
・ かながわFP生活相談センター ・ 横浜刑務所 ・ 横浜保護観察所 ・ 久里浜少年院 ・ 神奈川県社会福祉士会

◆市町村

県内33市町村(全市町村)

◆県庁内関係部署

・ 国際課 ・ 生活援護課 ・ 地域福祉課 ・ 次世代育成課 ・ 子ども家庭課 ・ 障害福祉課 ・ 高齢福祉課
・ 雇用労政課 ・ 住宅計画課 ・ 公共住宅課 ・ 建築指導課

1　自己紹介　～　神奈川県居住支援協議会　～

◆市町村（居住支援協議会）が活用できるツールの作成や情報提供を実施。
◆市町村居住支援協議会の「横のつながり」をつくるため、市町村居住支援協議会連絡会議を開催。
◆設立を検討している市町村へ設立を支援。
◆居住支援に関する人材の育成。





神奈川県内の
市町村単位の居住支援協議会（8市）

自治体名	設立時期
横浜市	H30．10
川崎市	H28．　6
相模原市	R　2．12
鎌倉市	H31．　3
藤沢市	R　2．　8
座間市	R　3．　6
茅ヶ崎市	R　4．　4
厚木市	R　5．　3

目次

1　自己紹介
・事務局（かながわ住まいまちづくり協会）
・神奈川県居住支援協議会

2　居住支援コーディネーター育成事業について

3　研修会でのグループワークについて

4　これからのこと（まとめ）

２ 居住支援コーディネーター育成事業について （そもそも居住支援とは？）

◆「住まい」の課題・問題の発見者は、住宅関係者に限らない

➢ 日常の生活支援から「住まい」の課題が見つかる。

◆「生活」の課題・問題の発見者は、福祉関係者に限らない

➢ 日常の住宅管理業務から「生活」の課題が見つかる。

◆ 持ち家の方や家族と同居している方でも、生活の中の一部として住まい（居住）に課題を抱えている方がいる

➢ 居住支援は、賃貸住宅に入居する時の支援だけではない

「住まいに困っています」 ≠ 「転居」

困りごとを掘り下げなければ、本当の解決策は出てこない。

2　居住支援コーディネーター育成事業について　（そもそも居住支援とは？）

◎住宅確保要配慮者の実際

高齢者、障害者、生活困窮者、外国籍、被災者・・・　だけというのは稀。

・障害のある高齢者
・生活保護を受給している高齢者
・障害のある外国籍の高齢者
・親からDVを受け、それが原因で精神疾患を患い、孤立している生活保護受給者

など、生活に困難な状況が複雑に絡まっている方が増えている。

疾患は医療、生活困窮は福祉、生活サービスは介護、多言語対応は地域共生　など
多職種でその方の困りごとをほどき、サービスに繋げる必要がある。
単純ではないからこそ、多くの方との関りが必要

2 居住支援コーディネーター育成事業について （事業実施のきっかけ）

事務局である「かながわ住まいまちづくり協会」での相談業務において、相談のつなぎ方、つながれ方にモヤモヤ・・・。

連携 ＝ 丸投げ ？？？

令和3年、座間市居住支援協議会設立総会終了後、会長（当時：座間市生活援護課長）との雑談で、『介護保険制度のケアマネジャーのような人が居住支援にもいたら良いね・・・』という会話から、皆おなじ悩み（モヤモヤ）を抱えていることが分かった！

居住支援に重要な役割は、「プロフェッショナル」よりも『ジェネラリスト』。
広いアンテナを持って、的確な窓口に『つなぐ』ことができる人材が必要だ！

神奈川県居住支援協議会で人材育成を事業にしよう！

2　居住支援コーディネーター育成事業について

令和4年度

○「居住支援に関するコーディネーター育成」検討会を設置

・高齢、障害、生活困窮、外国籍、シングルマザー支援などを行っている居住支援法人に事務局から呼びかけ
・4回開催
・実施要綱、研修カリキュラム、プレイベントの企画を検討

○居住支援コーディネーター育成事業プレイベントの開催

・（NPO）抱僕・奥田理事長の基調講演と検討会メンバーのパネルディスカッション
・人材育成の必要性と事業スタートの周知を行った
・約70名の参加







2　居住支援コーディネーター育成事業について

令和4年度

○検討会議メンバー　（その後、育成研修の講師となる）

団体名　（※　現在退会）	会員の分類	専門分野
（一社）インクルージョンネットかながわ	会員・居住支援法人	生活困窮者支援
（社福）小田原福祉会	会員・居住支援法人	高齢者支援
（NPO）ぐるーぷ藤　（※）	会員・居住支援法人	高齢者支援
（株）トータルホーム	会員・居住支援法人	障害者支援
（株）めぐみ不動産コンサルティング	会員・居住支援法人	子育て世帯支援
（NPO）全国ひとり親居住支援機構	会員・居住支援法人	子育て世帯支援
（NPO）かながわ外国人すまいサポートセンター	会員・居住支援法人	外国籍住民の支援
（一社）家財整理相談窓口	会員・居住支援法人	入居後の支援
（一財）高齢者住宅財団	会員	家賃債務保証　他
神奈川県 住宅計画課	居住支援協議会会員	行政
横浜市居住支援協議会（横浜市住宅政策課、横浜市住宅供給公社）	市町村居住支援協議会	行政
座間市居住支援協議会事務局　（座間市地域福祉課）	市町村居住支援協議会	行政
神奈川県居住支援協議会事務局	事務局	―

2 居住支援コーディネーター育成事業について

令和4年度
○実施要綱の検討

「神奈川県居住支援協議会居住支援コーディネーター育成事業　実施要綱」より抜粋

目　的

居住支援に関する様々な課題は生活支援の課題の一部であり、相談者の生活や居住の権利を第一に考えて対応していく必要がある。

こうした前提となる考え方の他、地域福祉としての住まいの位置づけや地域の福祉資源などを含めた知識等を、行政職員をはじめ、地域福祉を担うソーシャルワーカーや民生児童委員、居住支援法人や不動産店の従業員等の関係者に対して研修を実施することで、専門部署（団体）へ“つなぐ”専門家を育成することで、居住支援に対して関係者が連携して対応していくための地域基盤の構築を目的とする。

地域基盤の構築が目的で、人材育成はその「手段」

想定する人材

住まい探し及び福祉サービスの基本的な知識だけでなく、住まいの課題を生活全般の課題と捉え、困りごとを受け止めて整理する力を習得し、課題（問題）を発見から専門部署（団体）へ寄り添いながら“つなぐ”ことができる人材。

コーディネーターになるには、協議会が実施する育成講座の全てのカリキュラムを受講する。

受講修了者には、協議会会長から「認定証」を交付。認定期間は5年間。

2 居住支援コーディネーター育成事業について

令和4年度

○研修カリキュラムの検討

◇第1日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	趣旨説明	事務局
13:40～	居住の権利について	インクルージョンネットかながわ
14:00～	住まい探しを考える前に （インテークの方法）	座間市　地域福祉課
14:20～	ニーズにあった住まい方について	かながわ住まいまちづくり協会
14:55～	住まい探しの基本知識	トータルホーム
15:15～	国の制度について	・国土交通省 ・厚生労働省
15:55～	家賃債務保証について	高齢者住宅財団

◇第2日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	困窮者支援の現場から	インクルージョンネットかながわ
14:10～	高齢者支援の現場から	・小田原福祉会 ・かながわ住まいまちづくり協会
15:05～	障害者支援の現場から	トータルホーム
15:45～	シングルマザー支援の現場から	めぐみ不動産コンサルティング

◇第3日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	外国籍住民支援の現場から	かながわ外国人 すまいサポートセンター
14:10～	刑余者、刑務所出所者支援の現場から	県地域生活定着支援センター
15:05～	家財整理も居住支援	家財整理相談窓口
15:45～	グループワークの説明	事務局

◇第4日目（グループ検討・相互発表）

時間	テーマ
13:30～	【第一部】　相談内容を掘り下げる
14:15～	【ハーフタイム】　聞き取り内容を振り返る
14:30～	相談内容を整理して共有
15:00～	【第二部】　誰に情報を得る？どこへつなぐ？

2　居住支援コーディネーター育成事業について

カリキュラムの1コマ目で趣旨説明と主催者・受講者相互の認識を共有

第1日目

時間	テーマ	講師候補
13:30～	趣旨説明	事務局
13:40～	居住の権利について	ジョンネットかながわ
14:00～	住まい探しを 法）	
14:20～	ニーズにあ	
14:55～	住まい探し	
15:15～	国の制度に	
15:55～	家賃債務保	

本講座における主催者と受講者の共通認識

① 居住支援は、できないことを一人で頑張る制度ではない。

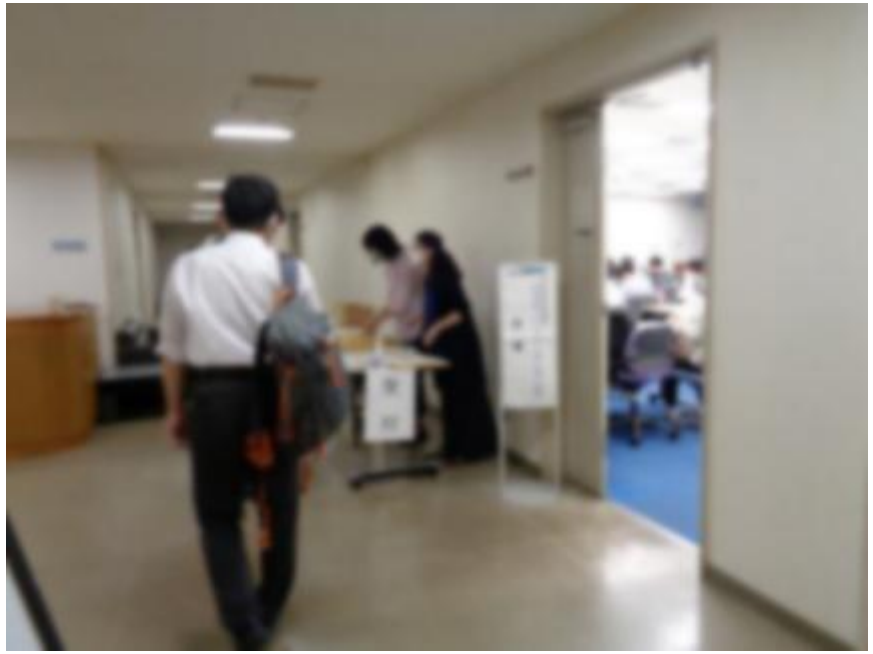
② 居住支援は、できないことをカバーし合って、
関係者が一体となって取り組まないと成立しない。

③ 「つなぐこと」は丸投げではない。行動を伴った連携が真の連携！

2　居住支援コーディネーター育成事業について

令和5年度（初年度）
育成研修実施状況

○令和5年度
横浜市内で2回開催　※1回目は定員を超える申込。急遽2回目を開催。
コーディネーター認定　109名



検討会議のメンバーが当日の運営も実施
（講師以外のメンバーは受付や写真撮影等を担当）

会場風景



2　居住支援コーディネーター育成事業について

令和6年度～現在

県内の8つの市町村単位の居住支援協議会関係者と共通認識を持ちたい！

➢　広く参加者を募るのではなく、市町村の居住支援協議会と協働して研修会を開催

〇令和6年度

藤沢市内で1回開催　（藤沢市居住支援協議会と共催）

コーディネーター認定　34名

〇令和7年度

厚木市内で1回開催　（厚木市・厚木市居住支援協議会と共催）

コーディネーター認定　41名

令和5年度～7年度　4回開催　184名を認定

〇令和8年度

一週回って、横浜市内で開催予定（10月～11月）

2　居住支援コーディネーター育成事業について

認定証(4日間の研修会　頑張った証し！)

神奈川県居住支援協議会　居住支援コーディネーター

認定証

氏　　名　　●●　●●

認定番号　　受講年度（西暦下２桁）　―　認定回数　―　通し番号３桁

（例：２３－１－００１）

初回認定日　　令和●年●月●日

有効期限　　令和●年●月●日（５年後の３月３１日）

上記の者を居住支援コーディネーターとして認定いたします。

神奈川県居住支援協議会

会　長　　羽太　美孝

（裏面）

◆本認定証は、神奈川県居住支援協議会・居住支援コーディネーターであることを証明するものです。
◆本認定証の他人への貸与・譲渡はできません。
◆本認定証は、有効期限を過ぎた場合、無効となります。
◆本認定証の表記内容を改変したり不正利用した場合、無効となります。
◆認定者の氏名変更等については、下記までご連絡ください。
◆本認定証を拾得された方は、下記までご連絡ください。

神奈川県居住支援協議会事務局
（公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会）
ＴＥＬ　０４５－６６４－６８９６

目次

1　自己紹介
・事務局（かながわ住まいまちづくり協会）
・神奈川県居住支援協議会

2　居住支援コーディネーター育成事業について

3　研修会でのグループワークについて

4　これからのこと（まとめ）

3　研修会のグループワークについて

◇第1日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	趣旨説明	事務局
13:40～	居住の権利について	インクルージョンネットかながわ
14:00～	住まい探しを考える前に （インテークの方法）	座間市　地域福祉課
14:20～	ニーズにあった住まい方について	かながわ住まいまちづくり協会
14:55～	住まい探しの基本知識	トータルホーム
15:15～	国の制度について	・国土交通省 ・厚生労働省
15:55～	家賃債務保証について	高齢者住宅財団

◇第2日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	困窮者支援の現場から	インクルージョンネットかながわ
14:10～	高齢者支援の現場から	・小田原福祉会 ・かながわ住まいまちづくり協会
15:05～	障害者支援の現場から	トータルホーム
15:45～	シングルマザー支援の現場から	めぐみ不動産コンサルティング

◇第3日目（座学）

時間	テーマ	講師候補
13:30～	外国籍住民支援の現場から	かながわ外国人 すまいサポートセンター
14:10～	刑余者、刑務所出所者支援の現場から	県地域生活定着支援センター
15:05～	家財整理も居住支援	家財整理相談窓口
15:45～	グループワークの説明	事務局

◇第4日目（グループ検討・相互発表）

時間	テーマ
13:30～	【第一部】　相談内容を掘り下げる
14:15～	【ハーフタイム】　聞き取り内容を振り返る
14:30～	相談内容を整理して共有
15:00～	【第二部】　誰に情報を得る？どこへつなぐ？

3　研修会のグループワークについて

時間	テーマ	内　容
13:30～ 14:15	【第一部】 相談内容を掘り下げる	・ヒアリングのポイントは？ ・ニーズの整理方法を学ぶ ・困りごとと解決すべきことは
14:15～ 14:30	【ハーフタイム】 聞き取り内容を振り返る	事務局から「モデルヒアリング 各班のヒアリング内容と照らし を学ぶ。
14:30～ 14:45	相談内容を整理して共有	各班のヒアリング内容から ニーズを共有し、第二部へ！
15:00～ 15:45	【第二部】 誰に情報を得る？どこへつなぐ？	・具体的な解決方法を検討する
15:45～ 16:15	グループ発表	
16:15～ 16:25	講　評	

アセスメント力を養う

答え合わせ

共有と整理

連携先をさがす練習
解決方法を考える

他の参加者の考えを知り、
知見を広げる

3　研修会のグループワークについて

参加者への配布資料

「住まいの悩みを抱える親子(ヤスダさん)が、皆さんの窓口へ来所した」と想定して、相談者役にヒアリングしてください。

提供する情報はこれだけ

グループワークの進め方

・卓上の名札に所属とお名前をペンで記入してください。
・各班に「相談者役」としてスタッフがつきます。

○第一部

・住まいに悩みを抱えている「ヤスダさん」が、皆様のところへ相談に来たと想定してください。

【ヤスダさん】
本人（７５歳）　社交的。手作業は得意（絵手紙、小物づくり）
息子（４５歳）　大人しい性格　　の２人家族です。

・これ以外の情報は、皆様から「ヒアリングシート」を参照しながら、ヤスダさんからヒアリングしてください。

○第二部

・「検討シート」を基に、「ヤスダさん」の相談に対して、課題や支援、関わる関係者などを班のメンバーで話し合ってください。

3　研修会のグループワークについて

グループファシリテーター
（相談者役）のシナリオ

社交的な75歳のお母様を意識して演じてください。

◎ こんにちは。住まいについて相談です。

◎ 私と息子の2人世帯なのですが、今の住まいが住みにくいので、引っ越しをしようと考えています。

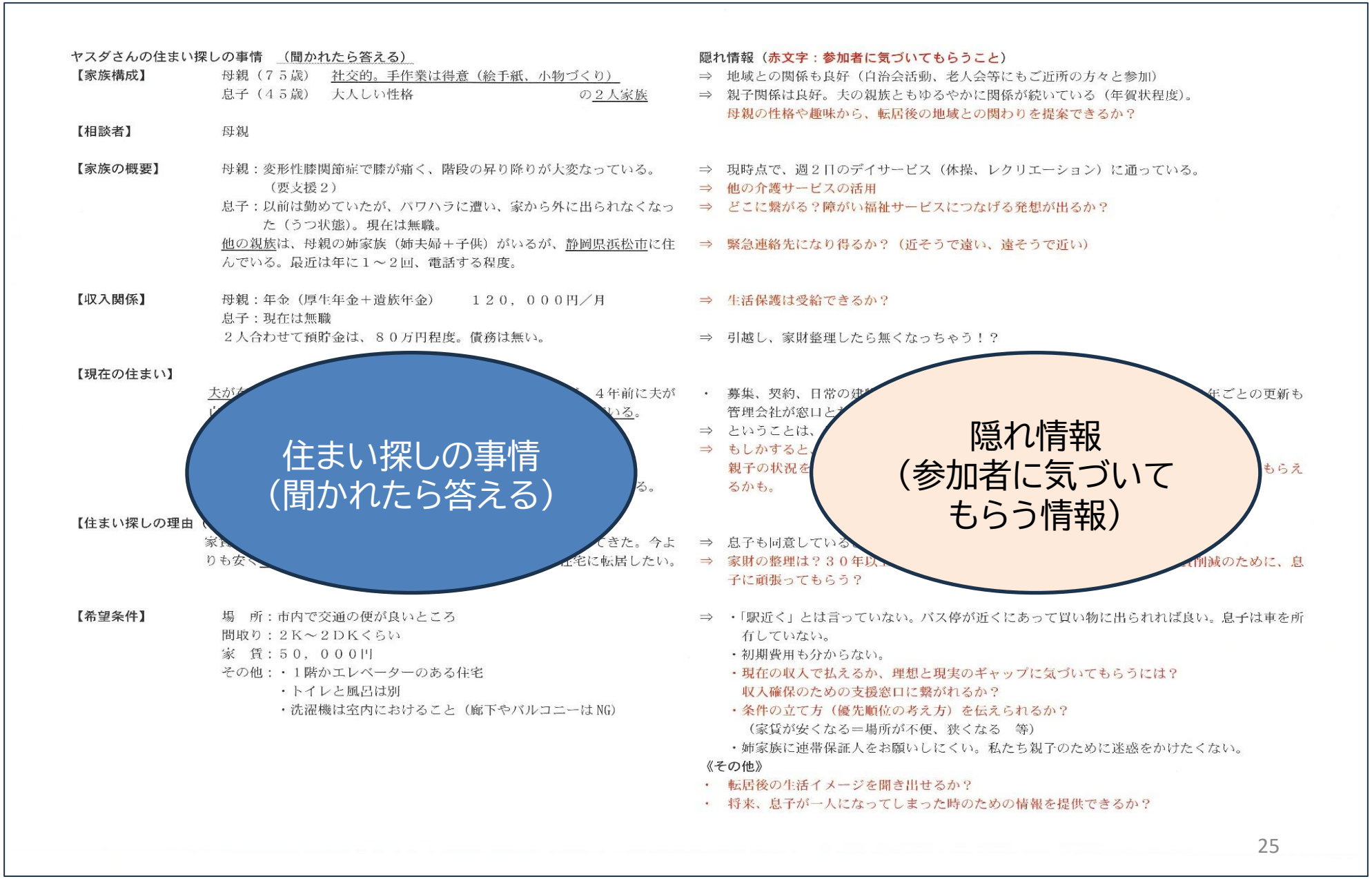
◎ 高齢者は部屋が借りられないと聞いて不安になって、相談に来ました。

以上。
あとは、聞かれたことに答えてください。

「高齢」の母と「障害」のある息子の母子世帯で、生活に困窮しはじめた方

3　研修会のグループワークについて

グループファシリテーター（相談者役）の手持ち資料



ヤスダさんの住まい探しの事情　（聞かれたら答える）

【家族構成】　母親（７５歳）　社交的。手作業は得意（絵手紙、小物づくり）
息子（４５歳）　大人しい性格　の２人家族

【相談者】　母親

【家族の概要】　母親：変形性膝関節症で膝が痛く、階段の昇り降りが大変なっている。（要支援２）
息子：以前は勤めていたが、パワハラに遭い、家から外に出られなくなった（うつ状態）。現在は無職。
他の親族は、母親の姉家族（姉夫婦＋子供）がいるが、静岡県浜松市に住んでいる。最近は年に１～２回、電話する程度。

【収入関係】　母親：年金（厚生年金＋遺族年金）　１２０，０００円／月
息子：現在は無職
２人合わせて預貯金は、８０万円程度。債務は無い。

【現在の住まい】　夫が…　…４年前に夫が…いる。

【住まい探しの理由（…】　家賃…できた。今より…住宅に転居したい。

【希望条件】　場　所：市内で交通の便が良いところ
間取り：２K～２DKくらい
家　賃：５０，０００円
その他：・１階かエレベーターのある住宅
・トイレと風呂は別
・洗濯機は室内におけること（廊下やバルコニーはNG）

住まい探しの事情
（聞かれたら答える）

隠れ情報（赤文字：参加者に気づいてもらうこと）

⇒　地域との関係も良好（自治会活動、老人会等にもご近所の方々と参加）
⇒　親子関係は良好。夫の親族ともゆるやかに関係が続いている（年賀状程度）。
母親の性格や趣味から、転居後の地域との関わりを提案できるか？

⇒　現時点で、週２日のデイサービス（体操、レクリエーション）に通っている。
⇒　他の介護サービスの活用
⇒　どこに繋がる？障がい福祉サービスにつなげる発想が出るか？

⇒　緊急連絡先になり得るか？（近そうで遠い、遠そうで近い）

⇒　生活保護は受給できるか？

⇒　引越し、家財整理したら無くなっちゃう！？

・　募集、契約、日常の…年ごとの更新も管理会社が窓口と…
⇒　ということは、…
⇒　もしかすると…
親子の状況を…もらえるかも。

⇒　息子も同意している…
⇒　家財の整理は？３０年以…費削減のために、息子に頑張ってもらう？

⇒　・「駅近く」とは言っていない。バス停が近くにあって買い物に出られれば良い。息子は車を所有していない。
・初期費用も分からない。
・現在の収入で払えるか、理想と現実のギャップに気づいてもらうには？
収入確保のための支援窓口に繋がれるか？
・条件の立て方（優先順位の考え方）を伝えられるか？
（家賃が安くなる＝場所が不便、狭くなる　等）
・姉家族に連帯保証人をお願いしにくい。私たち親子のために迷惑をかけたくない。

《その他》
・　転居後の生活イメージを聞き出せるか？
・　将来、息子が一人になってしまった時のための情報を提供できるか？

隠れ情報
（参加者に気づいてもらう情報）

3　研修会のグループワークについて

グループファシリテーター（相談者役）の手持ち資料

項目	聞かれたら答える内容	隠れ情報 （さらに聞かれたら答える内容）	参加者に気づいてほしいこと
相談者について		地域との関係も良好、今後も良好な関係を大事にしたい	転居後の地域との関りを提案できるか？
	母は、変形性膝関節症で膝が痛く、階段の上り下りが大変になっている（要介護2）	現時点で週2日のデイサービスに通っている	他の介護サービスの活用を提案できるか？
	息子は、10年前まで会社員だったが、パワハラで退職。それ以降、家から外に出られなくなった（うつ状態）。無職。	うつ状態は徐々に良くなっているが、まだ社会に出る自信がない。	・どこにつなげればよいか？ ・障がい福祉サービスを受けられるようにする発想がでるか？
	他の親族は母親の姉家族がいるが、県外。年1～2回電話する程度。		緊急連絡先になり得るか？

3　研修会のグループワークについて

グループファシリテーター（相談者役）の手持ち資料

項目	聞かれたら答える内容	隠れ情報 （さらに聞かれたら答える内容）	参加者に気づいてほしいこと
収入について	母：厚生年金＋遺族年金 合計　12万円／月 息子：無収入 2人合わせて預貯金が80万円程度。債務は無い。	転居費用（契約＆引越し）で預貯金が無くなる。	生活保護の受給は可能か？
現在の住まい	夫が存命時に借りた賃貸住宅 3DK　65，000円 2階／2階建　30年居住。 道路から物件まで20段の階段。	ということは、母も息子も住まい探しは未経験。	・どんなサポートが必要？ ・そもそも転居可能？
	当初は3人で入居していたが、4年前に夫が亡くなり、地位承継して母親名義で借りている。	建物管理、契約更新事務は地元の不動産店が貸主から受託。 貸主は近所に住んでいる。	・貸主、管理会社と信頼関係が構築されているかも？ ・値下げ交渉可能？ ・代替物件の紹介が期待できる？

3　研修会のグループワークについて

グループファシリテーター（相談者役）の手持ち資料

項目	聞かれたら答える内容	隠れ情報 （さらに聞かれたら答える内容）	参加者に気づいてほしいこと
住まい探しの理由	家賃が負担で階段の上り下りが大変なので、安くて1階かEV付きの住宅に転居したい。	息子は転居に同意。	息子の希望も考慮できるか 30年住んでいれば家財も多いはず。どうする？
希望条件	・同じ市内で交通の便が良いところ ・2K～2DK　50，000円	・駅近くとは言っていない。バス停が近くにあって買い物に出られれば良い。息子は車を持っていない。 ・初期費用がどれくらいか分からない ・親戚に迷惑をかけたくない	・現在の収入で希望家賃が払えるか？ ・収入確保のための窓口に繋がれるか？ ・条件の優先順位の立て方をアドバイスできるか？ ・保証人と連絡先の違いを説明できるか？
その他			・転居後の生活イメージを聞き出せるか？ ・将来、息子が一人になってしまった時のための情報を提供できるか？

3　研修会のグループワークについて

ヒアリングシート

居住支援　ヒアリングシート（研修用）

相談者氏名	フリガナ				
性別	男　・　女				
生年月日	昭 平　　年　　月　　日　　（　　75 歳）				
連絡先	住所	横浜市旭区西川島町			
	連絡先	電話番号	自宅	（　　）　　－	
			携帯	（　　）　　－	
		E-Mail		@	
現在の住まい（生活形態）	賃貸　・　持ち家	賃料、広さ等			
	名義				
ご本人のこと	続柄	年齢	職業	収入の種類	金額／月
	その他				
同居者のこと	続柄	年齢	職業	収入の種類	金額／月
	その他				
他の親族	続柄	年齢	職業	収入の種類	金額／月
	居住地				
	その他				
住まい探しの理由					

居住支援　ヒアリングシート（研修用）

希望する住宅の条件

項目	希望する条件	備考

保証関係

連帯保証人	
緊急連絡先 身元引受人	

自由記入欄

質問内容	相談者の回答	備考

3　研修会のグループワークについて

検討シート

検討シート　　班

	現状の課題	必要な支援	関わる人たち・機関	期待される効果	なおも残る課題
現在の住まいを退去する際の支援					
住まい探しの支援					
入居後の支援					

3　研修会のグループワークについて



ファシリテーターも検討会議メンバー





待機する相談者役のスタッフ(検討会議メンバー)



3　研修会のグループワークについて





各班、熱心な議論





検討結果の発表

3　研修会のグループワークについて

検討後の「検討シート」（抜粋）

	現状の課題	必要な支援	関わる人たち・機関	期待される効果	なおも残る課題
現在の住まいを退去する際の支援	資金の確保	・必要資金の可視化	・自立支援相談窓口（家計相談） ・生活保護窓口	・入居後の生活プランが立てられる	広い視野で
	家財が多い	・家財整理 ・分別作業 ゴミ出しのアド	考	・転居できるまで家財が減る ・売却した家財で転居費用捻出 ・転居に対するモチベーションUP	・親子の困り感の差 ・果たして引越しできるか？
	息子の話が聞きたい	・息子の気持ち、考えを聞く ・息子を医療につなげる	・障害福祉課 ・病院 ・障害の相談窓口 ・引きこもり支援の居住支援法人		そもそも転居？ 世帯分離

Good Idea !

広い視野で

住まい探し
≠
転居

3　研修会のグループワークについて

検討後の「検討シート」（抜粋）

	現状の課題	必要な支援	関わる人たち・機関	期待される効果	なおも残る課題
住まい探しの支援	・高齢、障害 ・保証会社の審査 ・不動産店に行けるか	・同行支援 ・不動産店とつなぐこと ・公営住宅	・不動産店 ・居住支援法人 ・地域包括 ・障害者相談機関 ・行政窓口 ・姉家族	・行政と不動産店がつなが	・時間がかかる ・公営住宅に当たらング が
			・自立支援相談窓口（家計相談） ・生活保護窓口 ・病院 ・障害福祉課	か ・息子に障害出る	新費用
	理想と現実のギャップを埋められるか	・伴走した住まい探し	・不動産店 ・貸主 ・居住支援法人	・家賃が抑えられる ・階段の上り下りの負担が減る	・転居後のQOL確保（親子とも）

ワークの中で、不動産系の参加者が福祉関係の参加者に住まい探しの流れなどをレクチャーする場面がありました。

ワークの中で、福祉関係者が良く使う用語などを住宅系の参加者へレクチャーする場面もありました。

3　研修会のグループワークについて

検討後の「検討シート」（抜粋）

	現状の課題	必要な支援	関わる人たち・機関	期待される効果	なおも残る課題
入居後の支援	生活資金が足りるか	・自立支援相談 ・生活保護	・自立相談窓口 ・地域包括 ・生活保護窓口 ・病院 ・障害福祉課	・生活の安定 ・息子に障害年金が出る	家計ショートの不安は残る
	地域とのつながり	・地域での孤立を防ぐ ・新しいコミュニティづくり	・地域包括 ・社協 ・民生委員 ・母の趣味仲間	・生活の安定 ・母の趣味を仕事[illegible]	環境の変化による[illegible]
	息子の自立	・就労に向けた支援 ・生きがいづくり	・病院 ・社協 ・自立相談窓口 ・ハローワーク	・自立支援が芽生える ・一人になった時を意識させる	親亡き後問題

共通認識
“大事だよね”

将来を見据えた支援を
考えられるか

3　研修会のグループワークについて

福祉関係者と住宅関係者、行政職員と民間事業者がごちゃ混ぜになったグループで、

情報のキャッチボール（意見交換）をすることで、

驚くほどの球速（意外と身近な解決策）

がでたり、

思いがけない変化球（気づかなかったアイデア）が生まれる

感覚を体験してもらえれば良いな～

「丸投げ」しない連携のカギは、『会話』からの『お互いの立場の理解』

目次

1　自己紹介
・事務局（かながわ住まいまちづくり協会）
・神奈川県居住支援協議会

2　居住支援コーディネーター育成事業について

3　研修会でのグループワークについて

4　これからのこと（まとめ）

4　これからのこと(まとめ)

スキルアップ研修のワークショップ課題

5年後のヤスダさん

グループワークの進め方

・皆さんが新規受講した際に相談に応じた「ヤスダさん」から、数年経過した後に、改めて皆さんのところへ相談があったと想定してください。
（覚えていますか・・・？当時のヤスダさん）

【ヤスダさん】
本人（７５歳）　社交的。手作業は得意（絵手紙、小物づくり）
息子（４５歳）　無職　うつ状態　大人しい性格　　の２人家族

その後、

・横浜市内　２Ｋ　６５，０００円　１階　の住宅に転居することができた。
・安定した生活を送っていましたが、
本人（８０歳）が、認知症の診断を受け、要介護３になってしまった。
息子（５０歳）は、アルバイトで７０，０００円／月の収入が得られるようになった。

という状況に変化しました。

今回、皆さんに相談があった内容は、

【ヤスダさん（５０歳・息子)】
母が要介護になり、施設へ入所する。
一人では、現在の住まいが広く、家賃も負担なので、一人暮らしに見合った住宅に転居したい。

次の相談者は
息子さん！

4　これからのこと（まとめ）

検討後の「検討シート」（抜粋）

	現状の課題	必要な支援	関わる人たち・機関	期待される効果	なおも残る課題
現在の住まいを退去する際の支援	ダウンサイズ 家財処分の問題	家財整理 生活設計の支援	・自立支援相談窓口（家計相談） ・家財整理事業者		費用の捻出
住まい探しの支援	・収入が少ない ・住まい探しのタイミング（母の施設入所の時期）	・就労支援 ・住居確保給付金	・自立支援相談窓口 ・不動産店 ・いとこ	独立、自立	収入が増えてから探し始めては？
入居後の支援	・精神状態の安定 ・一人暮らし未経験	・家計支援 ・生活支援	・自立支援相談窓口 ・ヘルパー		ざという時の相談窓口必要 ・見守り 一人暮らし大丈夫？

俯瞰的な視点！

俯瞰的な視点！

4　これからのこと(まとめ)

令和8年度事業
市町村居住支援協議会設立　地域交流会の実施(県内3地域で開催予定)

◇目的
- ○居住支援協議会の未設立自治体へ設立を支援する
- ○自治体、居住支援法人、居住支援コーディネーターが繋がるきっかけをつくる

◇時期
- 10月頃

◇参加呼びかけ
- ○未設立自治体職員
- ○開催地域を活動エリアにしている居住支援法人
- ☆開催地域で活動している居住支援コーディネーター

◇内容(3地域共通)
- ○座学
- ○グループワーク　・・・　・お互いの立場を知ろう
  ・メンバーの中で、自分は何ができる(役立てることは何)？

4　これからのこと（まとめ）

人材を育成することで、「連携」が当たり前の地域基盤をつくる

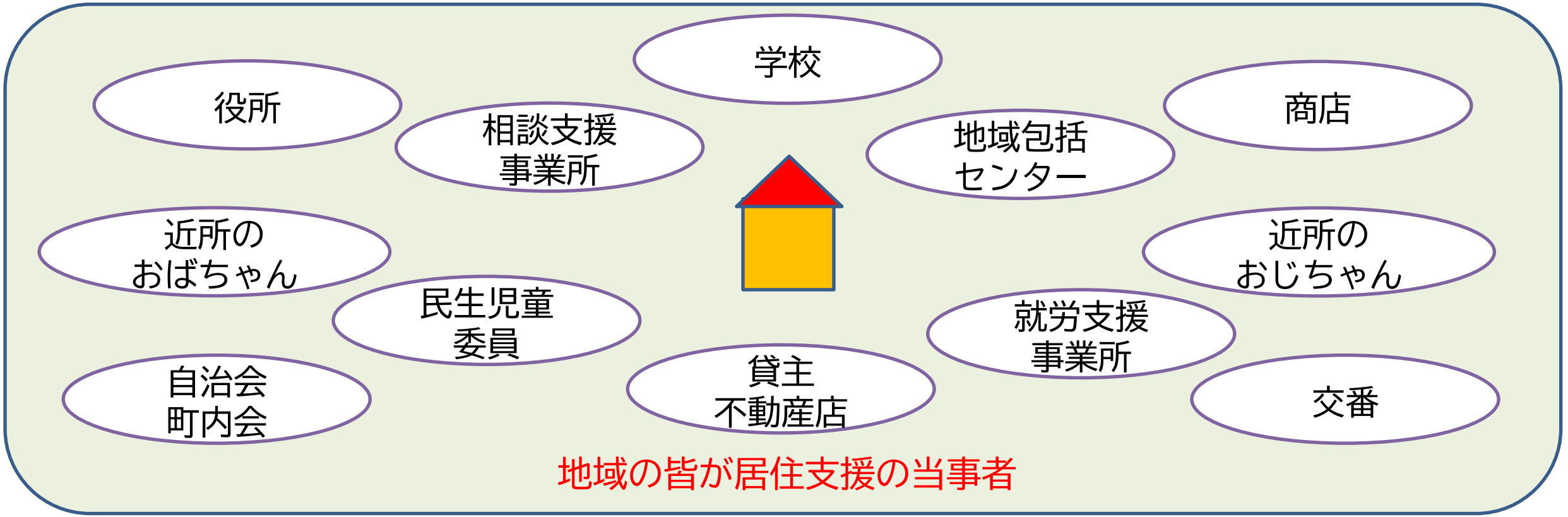
～地域基盤の構築が目的で、人材育成はその「手段」～

神奈川県内**だけ**の事業とは考えていません。また、これが完成形とも考えていません。

皆様の活動地域でも「人材育成」を手段に、複合的な要因で借りたくても借りられない方をサポートできる地域づくりに向けて、参考にしていただければ幸いです。

そして、よいアイデアがあれば、これをご縁に情報交換をお願いします。

おわり　　ご清聴ありがとうございました



地域全体でさりげなく生活をささえる仕組みをつくる
「居住支援協議会」が無くても、当たり前に実現する社会へ

本日の勉強会を契機に、神奈川県内の居住支援協議会と情報交換・共有をお願いいたします。